

ソフトの起動と最初の設定

1. ソフトの起動

実行プログラム kaiG6D2.exe を開くと、ソフトが起動して次のような画面になります。

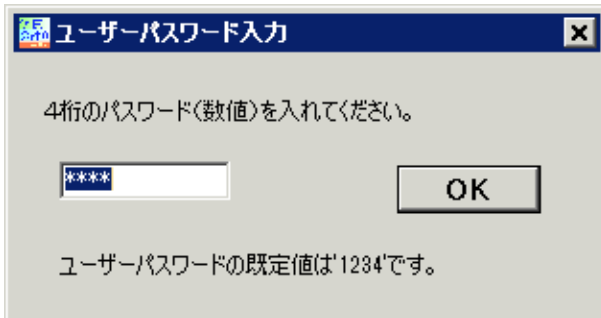


(注意)

- 学校法人会計D2のフォルダはどこに置いても実行できますが、program filesの中に置くと起動時に常に管理者権限で開かないと、バーチャル領域にデータを保管するようになり後々管理が大変になりますので、推奨はCドライブかDドライブの直下がわかりやすいと思います。
- サーバーに“学校法人会計D2”のフォルダを置いて運用する場合は、同時のソフト使用はしないでください。
- ソフトの起動の途中で、“セキュリティ警告”が出る場合がありますが、“許可”する方向で選択してください。Windows10の場合は、“詳細”のボタンをクリックすると、“実行”許可のボタンが出ます。

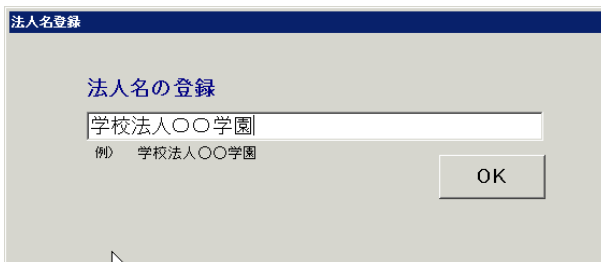
2. ユーザーパスワード

ユーザーパスワードの入力画面では、そのまま“OK”ボタンを押してください。
このユーザーパスワードは後で、
初期設定メニュー ⇒ 会計期首 の画面で変更できます。



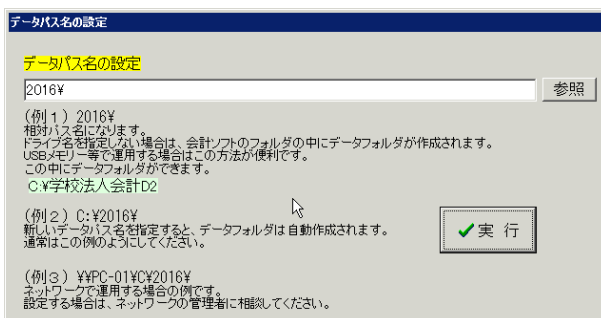
3. 法人名の登録

法人名の登録画面が出てきたら、下記の例のように学校法人名を入れてください。

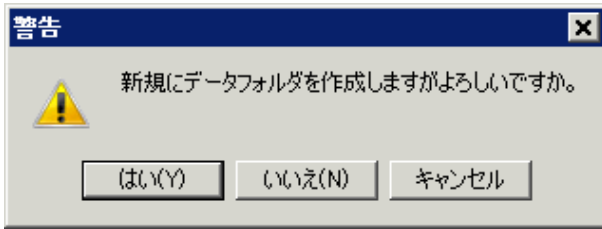


4. データパス名の設定

データパス名は、下記例のように西暦年度を入れてください。



次のダイアログ画面では、新規にデータフォルダを作成しますので、“はい”を選択します。



【補足】

データパス名は、絶対パス名、論理パス名の設定も出来ますが、これらの設定はユーザー様の自己管理のもとで運用してください。

5. 初期設定メニューの画面

以上の最初の設定が終わると、このような画面になります。
最初に、部門登録と勘定科目の設定を行ってください。

